

事業番号	09 07 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	農業を支える新たな担い手を育てる事業	部局	農政部	課・室	農村振興課	
		実施期間	S42 ~	E-mail	noson @ pref.nagano.lg.jp	

### 1 現状と課題

2020農業センサスの結果では、前回のセンサスに比べ、基幹的農業従事者が約4分の3になるなど、急速に農業従事者や経営体が減少しているため、以下の対策を講じる必要がある。

- ・意欲ある若い世代の新規就農者や本県の農業生産を支える担い手の確保・育成
- ・地域農業を担う中核的経営体や農業・農村をけん引するリーダーの育成
- ・農業・農村を支える多様な人材の呼び込み

### 2 事業目的

新規就農者を確保・育成するとともに、参入者・女性農業者など多様な担い手の経営発展の支援を行い、地域農業を担う中核的経営体として育成し、本県農業の生産を支えるとともに、農村コミュニティを維持する。また、農業を志向する者等に対して、農業を学ぶ場の提供等を行い、農業・農村に多様な人材を呼び込み活性化を図る。

### 3 事業目的を達成するための取組

- ①新規就農者の確保
- ・就農希望者の定着に向け、市町村・JA等関係機関が一体となった就農促進活動（10広域）
  - ・就農に向けた新規里親研修の実施
  - ・若年層に農業理解を促すセミナー等の開催とガイドブックの作成
  - ・クリエイティブコンソーシアムによる就農支援事業の共創
- ②中核的経営体の育成及び経営発展支援
- ・地域営農やコミュニティ活動をけん引するリーダーの育成研修の実施（農業経営士、農業士、農村生活マイスター）
  - ・経営発展を図るための信州農業エグゼクティブMBA研修の実施
  - ・ハローワーク等と連携した就業相談会の開催や、学卒者の採用体系の構築
  - ・地域農業の担い手や意欲ある経営体における農業機械等の導入支援
- ③多様な担い手確保・育成
- ・農業女子による販促活動等企画・実践への支援
  - ・女性農業者の経営発展を図るためスキルアップセミナーを開催
  - ・農業アドバイザーや地域サポーターによる農ある暮らし相談の実施
  - ・農ある暮らし講座等研修会の開催と実践に向けた信州農ある暮らし農園の開設支援

### 4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R3年度		R4年度		R5年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	新規就農相談会回数	回	51	50	↘	52	↗	42	達成	県内外の就農希望者を呼び込むため、過去の新規就農相談会回数を基に設定。	
②	長野県農村生活マイスターの認定者数	人	6	13	↗	18	↗	15	達成	営農や地域活動に取り組む農村の女性リーダーの育成を進めるため、直近3年間の農村生活マイスター平均認定数の2割増に設定。	
③	農ある暮らし体験研修・セミナーの受講者数	人	205	287	↗	650	↗	100	達成	定年帰農や田舎暮らし等、農ある暮らしに関する体験研修・セミナーの回数と受講定員から設定。	

### 5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （★印が付いているものは主要目標）	単位	直近3か年の状況						目標	
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値
2-1①	成長産業の創出・振興	農業における中核的経営体数	経営体	2021 (R3)	10,044	2022 (R4)	10,061	2023 (R5)	10,288	2027 (R9)	10,700
2-3①	地域の建設業等における担い手の確保の推進	新規就農者数(49歳以下)	人/年	2021 (R3)	212	2022 (R4)	189	2023 (R5)	172	2027 (R9)	215

### 6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R5年度	69,919	1,395,464	△ 177,269	1,288,114	113,800	1,061,843	17.9
R4年度	269,556	1,303,269	△ 111,416	1,461,409	83,948	1,077,019	17.9
R3年度	101,375	1,155,771	△ 9,109	1,248,037	32,667	830,390	17.9

事業番号	09 07 01	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	農業を支える新たな担い手を育てる事業		部局	農政部	課・室	農村振興課

## 7 主な取組実績と成果

<p><b>①新規就農者の確保</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就農希望者の定着に向け、市町村・JA等関係機関が一体となった就農促進活動を展開した（10広域）。</li> <li>・新規就農希望者のスムーズな就農をサポートするため、新規就農里親研修を実施し、独立就農希望者を支援した（41名）。</li> <li>・若年層に農業理解を促すセミナー等を開催した（7校で計9回、合計398名参加）。</li> <li>・中高生向けの就農ガイドブックを作成し配布した（9経営体を取材。県内高校等へ11,595部を配布）。</li> <li>・若手農業者等とのコンソーシアムを開催し、新規就農者の増加に向けた支援策等を検討した（計4回）。</li> </ul> <p><b>②中核的経営体の育成及び経営発展支援</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域営農やコミュニティ活動をけん引するリーダーを育成するための研修会を実施した（農業経営士：1回、農業士：4回、農村生活マイスター：5回）。</li> <li>・経営発展を図るため、経営のスペシャリストを講師に、全6講座にわたる信州農業エグゼクティブMBA研修を実施し、10名の修了者を輩出した。</li> <li>・中核的経営体の経営発展を図るため、89経営体に対し、農業機械導入や施設整備を支援した。</li> </ul> <p><b>③多様な担い手確保・育成</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若手女性農業者が経営発展に向けて、自ら信州農産物等を販売・PRするマルシェの企画・実践への支援を行った（5グループ）。</li> <li>・体験農園等のセミナーを37回開催し、650名が参加した。</li> <li>・農ある暮らしの相談対応（113件）のほか、農ある暮らしの実践に向けた支援や、農ある暮らしの魅力について情報を発信し、少なくとも県外者2名の県内移住に結びついた。</li> </ul>
---

## 8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	新規就農相談会回数	R4年度推移	↓	R5年度推移	↑	達成状況	達成
<p>コロナ禍が明け、対面での就農相談を希望する方が増加し、ニーズに合わせた対面の就農相談会を再開するとともに、オンラインの相談会も継続開催したことにより、目標を上回った。</p>							
指標②	長野県農村生活マイスターの認定者数	R4年度推移	↑	R5年度推移	↑	達成状況	達成
<p>農業農村支援センターと長野県農村生活マイスター協会の連携により、将来の農業委員等を目指す女性農業者の掘り起こしに努めた結果、応募者数が増加し、目標値を上回った。</p>							
指標③	農ある暮らし体験研修・セミナーの受講者数	R4年度推移	↑	R5年度推移	↑	達成状況	達成
<p>相談活動やSNS等での情報発信などによる知名度の向上や、新たに農ある暮らし地域サポーターのセミナー開催支援を行ったこと等により、受講者数が増加し、目標を上回った。</p>							

## 9 今後の事業の方向性

<p><b>(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍が明け、対面による就農相談対応も再開し、併せてオンラインによる相談対応も継続しながら積極的な活動を展開することができた。今後も就農相談者のニーズを捉えながら様々な手法を駆使して相談活動に取り組む必要がある。</li> <li>・また、各地域におけるリーダー候補者の掘り起こしも再開することができ、認定者数も回復傾向にある。引き続き既認定会員による推薦や支援センターによる個別訪問などを継続し、リーダー認定者を継続確保することで、地域農業の活性化につなげる必要がある。</li> <li>・R元年度からの取組により、農ある暮らしへの関心はかなり高まってきた。一方で、専任アドバイザーの役割も大きくなってきており、対応が難しいことも増えてきた。そこで地域の熟練農業者や農ある暮らし実践者にサポーターとして協力いただき、地域に根付いた支援を進める必要がある。</li> </ul>
<p><b>(2) 事業改善の方策</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規就農者の確保に向けて、市町村、JA等の関係機関と連携しながら、県内外において対面やオンラインを活用した就農相談会を積極的に開催することにより、将来的な担い手の確保・育成に取り組む。</li> <li>・農業リーダー研修会の開催、信州農業エグゼクティブMBA研修会の開催などにより、信州農業をけん引する人材の育成を継続して支援する。</li> <li>・多様な人材の活躍による農村の振興に向けて、熟練農業者や農ある暮らし実践者に「農ある暮らし地域サポーター」としての登録拡大と協力をいただき、農ある暮らし志向者への支援の充実を図る。</li> </ul>

事業番号	09 07 01	<b>細事業一覧（令和5年度実施事業分）</b>	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検			
事業名	<b>農業を支える新たな担い手を育てる事業</b>		部局	農政部	課・室	農村振興課

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
<b>1</b>	<b>就農サポート事業</b>		697,705 千円	654,305 千円	689,773 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	新規就農サポート事業	直接 委託 補助金	県内外の就農希望者を呼び込むため、相談活動やウェブサイトの運営を支援 （補助・委託先：（公社）長野県農業担い手育成基金） 新規就農相談会（年49回開催）		
2	就農促進プロジェクト・体験研修支援事業	直接 補助金	就農希望者の円滑な就農・定着化を進めるため、市町村・J A・農業法人等が一体となり就農促進活動や、体験研修受け入れを支援 （補助先：県農業経営者協会、県農業法人協会） 就農促進活動を10広域で実施、体験研修生84名の受け入れを支援		
3	新規就農者育成総合対策	直接 補助金	就農に向けた研修資金、親元就農を含む経営開始時の投資を基本とする経営開始資金を交付 就農準備資金78名対象、経営開始資金425名対象、合計交付額669,274千円		
4	農業の未来の担い手支援事業	直接	若年層が農業を職業として選択できる環境を整えるため、農業理解を促す農業の魅力発見セミナーや農業法人見学会などを実施 魅力発見セミナー参加生徒数 398名		
5	農業の担い手支援クリエイティブ共創事業	直接	女性農業者や若手農家、農大生などで構成するクリエイティブコンソーシアムの開催 コンソーシアム 年4回開催		

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
<b>2</b>	<b>農業リーダー育成事業</b>		2,476 千円	7,660 千円	7,698 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	農業リーダー認定・研修	直接	地域の営農やコミュニティ活動をけん引するリーダーを育成するため、農業リーダーの認定・研修等の支援を実施 農業経営士11名、農業士9名、農村生活マイスター18名を新たに認定		
2	信州農業エグゼクティブM B A事業	委託	売上額10億円を目指し、経営発展を図るためのスキルを身につけ、エグゼクティブな経営者へ成長することを目的とした研修を実施 受講者10名		
3	農作業セーフティアップ事業	直接	農作業事故の削減を図るため、事故割合の高い高齢者の安全指導強化や、リスク回避対策の指導を実施 農作業安全運動の実施（春・秋）、農作業安全推進研修の実施（21名申込）		

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
3	農業大学校研修事業		21,036 千円	20,552 千円	27,586 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	新規就農支援	直接	新規就農者が就農するまでの間において、就農への意思決定や就農に必要な基礎知識・生産技術の習得支援 新規就農里親研修 R5年度新規研修生数41名		
2	農業技術力向上支援	直接	農業機械の安全使用から高度な利用までの各種研修会の実施 研修会 年34回開催		

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
4	経営体育成支援事業		96,563 千円	382,795 千円	327,699 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	融資主体補助型	補助金	地域農業の担い手となる経営体が融資を受け、農業用機械等を導入する際、融資残について補助金を交付 15名に対し補助額36,425千円		
2	国経済対策対応	補助金	担い手の意欲的な取組に必要な省力化機械や施設等の導入を支援するため、増額補正を実施 11名に対し補助額130,493千円を予定（全件繰り越してR6実施中）		
3	新規就農補助型	補助金	新規就農者の他、親元就農し5年以内に経営を継承した経営体を対象に、機械や施設、果樹の改植等を補助 65名に対し補助額229,086千円		

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
5	NAGANO農業女子ステップアップ支援事業		712 千円	747 千円	567 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	農業女子のスキルアップ支援と情報発信	直接 補助金	農業女子の経営発展と農業の魅力発信を図るため、販促活動等企画・実践への支援、スキルアップセミナー・女性のための就農オンラインセミナー・相談会を実施 女性が働きやすい環境整備への支援 企画・実践への支援 5グループ		

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
6	農ある暮らし応援事業		7,031 千円	6,214 千円	5,954 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	農ある暮らし応援事業	直接	農業未経験者の就農・定着を図るため、発信力を強化するとともに、農ある暮らしの相談・体験・学びの機会の提供 ・農ある暮らしの相談対応（113件）、体験農園等のセミナー37回、650名が参加		

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
7	農業トップランナー応援事業 (農業労働力の安定確保支援事業)		4,867 千円	4,746 千円	2,566 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容(実績) (上段:事業概要、下段:活動によるアウトプット)		
1	外国人労働者の受入れ体制の構築	直接	農業者や農業関係団体等を対象とした、働き方改革の推進(労働環境改善意識啓発資料の作成及び研修会の開催等) 労働環境改善のための研修会の開催2回(141名参加)		
2	信州農業への就業支援	直接 補助金	ハローワーク等と連携した就業相談会の開催 農家等への学卒者採用体制の構築(補助先:JA長野県農業労働力支援センター) 地域JAや農業法人におけるインターンシップ開催支援4回(新規学卒者等11名参加)		
3	農福連携の推進	直接	ポスター掲示、動画放映等による周知促進を県内10地域で実施 研修会、就農体験会、技術講習会の開催 マッチングの促進(メニューリスト・マニュアルの作成) 就農体験会開催20回(福祉事業所等76名参加)、研修会開催3回(農業者等80名参加)		